令和６年度　入試広報課　重点目標

入試広報課の重点目標：**『つながりを深める媒体となる』**

本校の情報を得たいと考えている外部の方々には、我が校の特色ある教育内容（幅広い進路に対応するコース制や手厚い進路指導など）、充実した学園生活（特色のある行事や活発な部活動など）等、本校の長所や魅力を十分アピールしていきたい。

在校生に対しては、自分が在籍する学校への愛着を感じ、木更津総合高校の生徒として誇りを持ち、愛校心を育む内容となるよう掲載記事の編集に努める。また規模の大きな学校であるがゆえに、自分と関わりの浅い活動や他ハウスの事情に疎くなりがちである。その情報のギャップを埋める一助となるよう幅の広い情報の収集に努める。

保護者に対しても、学校への理解を深めていただけるよう、校内の出来事や学校行事等の情報を発信していきたい。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	全国大会での部活動の活躍、海外生徒との交流ほか、本校の活動は多岐に渡った。HP を通じて、その様子を十分発信できた。	甲子園出場、ベトナム・インドネシア生徒との交流など、特筆すべき年度となった。

入試広報課の方針

上記の役割を十分に果たしその目標を具体化するため、以下の項目に重点を置き今年度の業務に取り組む。

① 正確な情報収集と迅速な発信

掲載記事を生き生きとした内容にするためには、常に最新の情報を集め迅速な更新が求められる。拙速なものにならないよう情報を精査し、齟齬や誤謬ない編集を心がける。また、個人情報の管理にも十分配慮する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	基本的には、開催又は実施当日に、その内容を掲載できたが、一部の記事では発表後に詳細を訂正することがあった。	特に硬式野球の試合進行については顧問の確認を心掛けた。

② 各ハウス、各部署、生徒会及び部活動顧問との密な連絡

ＨＰ上の様々な情報、部活動紹介など、多方面の教職員から協力を得られなければ、成り立たないものばかりである。連絡を密に取り、協力を要請する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	今年度は特に、担当教師、参加生徒からの多くの写真・記事の提供を受けた。掲載記事の充実に大きく貢献した。	語学研修(8 月)での生徒の記事は、読み応えがあり好評を得た。

③ 入試広報課内の連携と役割分担の徹底

業務内容を確認し各担当者の役割分担を決め、協力し合える体制を整える。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	課員全員で協力して業務を行うことができた。特に、掲載記事の校正については、細部まで確認を怠らなかった。	長期休業中の確認に課題が残るが、今年度は、問題は生じなかった。